

国際会議として
日中学術交流が
さらに大きな輪に
第28回結核予防及び胸部疾病
日中友好交流会議報告

2020
春号
Vol.11

information

- 第60回
日本人間ドック学会演題発表
in 岡山
- 肺ドック受けてみませんか
- 仙台市民健診
(基礎健診、特定健診)のご案内
- 予防接種外来開設について
- フォトアルバム2019
- 医師・保健師等を派遣
パネルの貸出について
- 複十字シール運動
- 無料相談

公益財団法人宮城県結核予防会 広報誌

よぼう



複十字シール運動キャラクター
シールぼうやとシールちゃん

公益財団法人 宮城県結核予防会
発行 〒989-3203 仙台市青葉区中山吉成2丁目3番1号
TEL.022-719-5161 FAX.022-719-5166



国際会議として 日中学术交流が さらに大 きな輪に

～第28回結核予防及び胸部 疾病日中友好交流会議報告～

公益財団法人宮城県結核予防会
複十字健診センター

所長 齋藤 泰紀

はじめに

中国遼寧省瀋陽第十人民医院 胸科医院院長の劉永煜先生のお招きにより2019年10月10日から15日まで訪中し、第28回結核予防及び胸部疾病日中友好交流会議に参加してまいりました。この会は28年前に、宮城県仙台市と瀋陽・長春の結核に関する相互訪問による学术交流から始まり、2012年からは結核予防会本部が日本側窓口となって継続・発展してまいりました。今回は劉先生のお力により、従来よりも学术交流の規模を広げて英語による発表の国際会議“The 1st International Summit On Tuberculosis Prevention And Treatment In Northeast Asia”兼“The 28th China Japan Summit Forum On Tuberculosis Prevention and Chest Diseases”として生まれ変わりました。演題も中国から4題、国際的関連企業から1題、日本から4題、韓国から3題、モンゴルから1題、ロシアから1題と国際色豊かな会議に様変わりしました。

訪問団

訪問団は、公益財団法人結核予防会結核研究所所長の加藤誠也先生を団長として、同研究所国際部長岡田耕輔先生、複十字病院臨床研修科長兼呼吸器センター医長森本耕三先生、筆者である宮城県結核予防会齋藤泰紀、そして通訳コーディネーターとして栄研化学株式会社 吳邦傑氏の5名が訪中いたしました。参加予定の複十字病院院長の大田健先生は、台風19号の首都圏直撃が予想されたため病院管理上急遽日本にとどまることとなりました。10月10日午後、成田を発ち、夕方に瀋陽についた時点から、胸科医院副院長の李坤先生、日本語の堪能な譚珂先生をはじめとする中国側スタッフの熱い歓迎をうけました。瀋陽市は人口800万人で、高層ビルの林立する近代的な都市となり、中国東北部最大の都市として発展を遂げていました。

瀋陽の病院訪問と病院内学术交流

10月11日は、瀋陽第十人民医院 胸科医院を早速訪問しました。この病院は、瀋陽の中心部に位置し、結核を主として診療する病院から、他の肺癌などの胸部疾患も対象とし、さらに、全診療科・救急機能もと、市民のニーズに対応して総合病院化し、1000床以上の病院となっていました。結核に対応する病棟は、独立した9階建てのビルで病床は一般の結核患者495床、多剤耐性結核患者135床を有し、年間17000名の入院退院を平均入院日数10-15日で対応し、年間延べ50万人の外来患者が通院しているとのことで、中国東北地方の結核の拠点病院として機能していました。結核患者は多岐にわたる臓器結核に対応するよう診療窓口が分類されており、肺結核に対しては標準治療以外に、伝統的に気管支鏡による空洞内薬剤注入療法を行っていました。また、多剤耐性結核に対しては、ベダキリンを含めたレジメンも多くの患者に行われていました。検査室は、最先端の遺伝子診断機器を揃え、中国で開発した、喀痰を入れれば自動で喀痰の塗抹、染色、診断等を行う装置が使われていました。病院見学後、瀋陽第十人民医院のスタッフの皆さんと結核に関する検討報告や質疑応答を行いました。毎年結核研究所の教育研修プログラムに若手医師が派遣されていることから、すでに顔なじみとなった先生方もいて、和やかな雰囲気で行われました。



瀋陽第十人民医院 胸科医院
(約600床の結核病棟)



瀋陽第十人民医院を見学



第十人民医院 院内スタッフとの合同会議

国際会議

10月12日は朝から夕方まで、瀋陽市中心部のホテル内の立派な会場で、約100名の聴衆が参加し、上記会議が行われました。冒頭には、会長の劉先生と結核研究所所長の加藤先生の挨拶で始まり、日本からの4題を含めて、全14題の発表が同時通訳付きで行われました。最後に、今後も協力して結核終息を目指そうとの宣言が採択され、和やかな雰囲気ですべてを終えました。



Summit meeting 演者集合 左は孫書記、2人目は劉院長、筆者は右から6人目



加藤団長の開会挨拶

錦州の病院訪問と病院内学术交流

10月13日は、新幹線で瀋陽から南に約1時間半をかけて、錦州市伝染病医院を訪問しました。錦州市は人口308万人の海岸に近い都市で、病院は遼寧省の東部の結核の拠点で、650床の病床のうち結核が400床、その入院が年間4000名、多剤耐性結核は年間200名とのことでした。前院長の何軍党書記、院長の王志芹先生、副院長の常東岳先生およびスタッフの皆さんと、結核診療の現状や問題点に関して熱心な意見交換を行いました。その後、病院見学を行い、建物はやや古いものの結核病床は近代的な設備を有し、すべての感染症に対応する態勢で、隔離病床、ICUなど、重症化したり、HIVをはじめとして多臓器に障害のある結核患者にも対応し、検査機器も喀痰から塗抹染色を自動で行う装置を有するほか、最新の遺伝子診断機器も使用していました。



錦州市伝染病医院での意見交換会

むすびにかえて

中国における結核罹患率はまだ高く、日本の約6倍とされており、日本の約50年前の状況と類似しています。加藤団長が学術集会における挨拶で述べていましたが、日本の経験が中国および他の高蔓延国に対する今後の結核対策に役立つことは多いと考えられます。また、今回見学したような瀋陽や錦州の病院のように、重症かつ様々な病態の結核の患者さんを日本の病院の10倍規模かつ、近代的設備で日常的に診療していることは、日本における結核の臨床においても学ぶことが多くありました。病院や設備が近代的になっている一方で、圧倒的な患者数の診断治療に追われており、成績を分析・評価する余裕がもっとあればと惜しまれました。最後の夜は、白酒を酌み交わし(紳士的に)、今後とも、日中両国が手を取り合って、結核の終息に向けて協力していくことを共に誓って帰途につきました。

今後に向けて

過去の結核および胸部疾患に関する学术交流の歴史は宮城県と瀋陽・長春の間で始まったといわれていますが、中国側の皆様は想像を超えた歓待をして下さり、日中友好学术交流の絆の強さを感じました。蛇足ではありますが、今回私が中国で発表した内容は、頭を悩ませ四苦八苦した拙いものでしたが、結核研究所所長の加藤先生や国際部長の岡田先生からは、低蔓延国になろうとしている日本のなかでも低罹患率の宮城県の現状と課題が見えておりよい発表であったと、外交辞令とはいえコメントしてくださいました。私たちは、結核に対する様々な取り組みをしていますが、その一つ一つがどのような意味を持っているのか、今後どのようにしてより良い仕事にしていけるのか、見直して実践していくことが重要と思われます。



第60回日本人間ドック学会演題発表 in 岡山

2019/7/25.26



日本には約530万人のCOPD※1患者がいると推定されています。その大多数が未診断・未治療です。COPDの憎悪はQOL※2や呼吸機能を低下させ死亡リスクを高めることから早期発見・早期治療が重要となります。当法人では、早期発見のための有用なスクリーニング方法を探ることを目的に独自の問診票を組み合わせた検診を実施し検討を行いました。

※1「COPD シーオービーディー慢性閉塞性肺疾患」たばこの煙などに含まれる有害物質に長期間曝露されることにより肺が持続的な炎症を起こし、呼吸機能の低下などを起こした状態
※2「QOL(Quality of Life)クオリティオブライフ」ひとりひとりの人生の質や社会的にみた生活の質

テーマ 「肺がん検診における問診票によるCOPD検診の実施可能性に関する検討」

肺がん集団検診における喀痰細胞診受診者(原則50歳以上かつ喫煙指数600以上の高危険群)に問診票の記載を勧め、記載不備のないものを対象にCOPD評価をしました。

調査方法

COPD 評価

●mMRC※3を主としたCOPD問診票によりスクリーニングを実施

精密検査

●診察・肺機能検査・可逆性試験など
●日本呼吸器学会COPDガイドライン第5版に従って診断

治療指導

●必要に応じ吸入薬による治療、禁煙指導

2週間後の再受診で肺機能、症状、禁煙状況、副作用を確認し地域医療機関へと紹介

※3「mMRC(modified British Medical Research Council)息切れスケール



730名中343名という多くの方々にCOPD検診に参加していただきました。地域医療機関の協力もあり精密検査とした64名中37名の結果が得られ、17名のCOPD境界～確定者を拾いあげることができました。当法人にて治療・指導を行った方の中にはQOLの改善例、禁煙・減煙の成功例があり、今回の調査は効果的であったと考えます。



【学会での発表の様子】

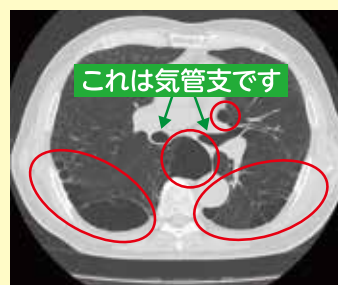
テーマ 「肺がんCT検診およびCOPD検診同時実施によるCOPD発見に寄与する因子の検討」

CT検診と肺機能検査、問診票を組み合わせた検診を試み、その結果からCOPD発見に大きく影響を与える因子が何かを調査しました。

今回の調査では、問診票とCT結果を組み合わせることで、問診票のみでスクリーニングを行うよりも、効率よく選別することが可能でした。また、問診項目でCOPD判定に関連の大きかった喫煙指数・BMI・喘鳴の有無とCT結果の4項目のみでのスクリーニングも可能であることが示唆されました。



正常像

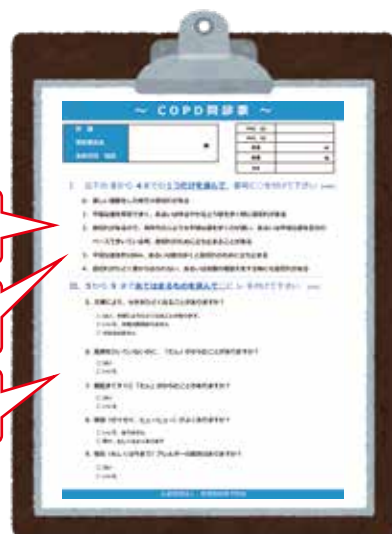


肺気腫

喫煙指数

BMI

喘鳴の有無

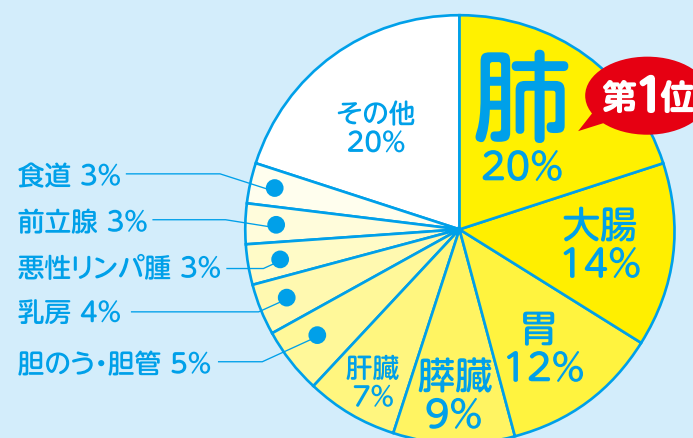


肺ドック 受けてみませんか

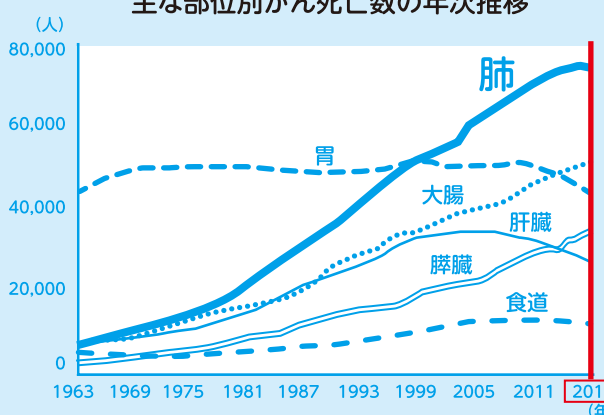
肺がんは 死亡者数 第1位

日本の死亡原因の第1位はがんです。その中でも肺がんが一番多く、平成29年には74,120人が亡くなっています。肺がんの死亡者数は年々増加しています。

2017年の主な部位別がん死亡割合



主な部位別がん死亡数の年次推移



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

肺ドックはこんな方にオススメ!

- 50歳以上の方
- 喫煙者・過去に喫煙していた方
- アスベスト(石綿)粉じんの暴露を経験された方
- 咳や痰が頻繁に出る方
- 受動喫煙やがんの家系などで自分の体が心配な方

当施設の肺ドックはここがオススメ!

- 呼吸器の専門医がCT画像をダブルチェック後、必要に応じてカンファレンスを実施していますので、信頼度の高い検査結果をお返します。
- 肺がんCT検診認定技師が、CTの精度管理を行っています。
- 当施設は、肺がんCT検診認定施設に登録されています。

※検査は寝台に仰向けになり、息止めを10秒程度行います。検査時間は3分程度です。



肺がんCT検診施設認定証

追加オプションでさらに詳しく検査できます

喀痰細胞診検査

3日間の早朝の喀痰(吐き出した痰)を専用の容器に採取し検査します。太い気管支に発生する肺がんを発見できます。年齢が50歳以上かつ喫煙指数※600以上の方は是非この検査を受けることをお勧めします。

※喫煙指数(一日の喫煙本数)×(喫煙年数)



肺機能検査

スパイロメーターという測定装置を用いて大きく深呼吸し、肺活量等を測定します。肺が正常に働いているかどうかを調べます。COPDなどの閉塞性換気障害や、肺線維症などの拘束性換気障害の評価が可能です。

肺がんは早期発見で治療効果が上がります。検査を受けてがんを早期のうちに見つけましょう!



その他各種オプションのお申し込みお問い合わせは

【複十字健診センター 事務室】 TEL:022-719-5161
【健康相談所 興生館 事務室】 TEL:022-221-4461

仙台市民健診(基礎健診、特定健診)のご案内

令和2年度より当法人では、基礎健診と仙台市国保加入者の特定健診の受診が出来るようになりました。受診を希望される方はお電話にて予約の上、ご受診ください。なお、健診結果につきましては、受診の3週間後以降に再度来所いただき医師より説明いたします。

受診期間 特定健診 令和2年6月1日～9月30日、令和3年1月(予定)
基礎健診 令和2年7月1日～9月30日、令和3年1月(予定)

健診内容

- 問診(自覚症状・既往歴・受診状況など)
- 身体計測(身長・体重・腹囲・BMIなど)
- 理学的検査(聴診など)
- 血圧測定
- 尿検査(蛋白・糖)
- 脂質検査(HDLコレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪)
- 肝機能検査(AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GT(γ-GTP))
- 腎機能検査(血清クレアチニン・eGFR)
- 尿酸検査(血清尿酸)
- 貧血検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット)
- 血糖検査(ヘモグロビンA1c)
- 心電図検査
- 眼底検査(登録眼科医にて受診いただくようになります)

生活習慣病は自覚症状がなく気づかないうちに進行し、心筋梗塞や脳卒中を引き起こします。基礎健診、特定健診ではそんな自覚症状の出にくい生活習慣病を早期に発見できます。健診を受け、早い段階で生活習慣を見直し、病気を予防することで、治療にかかる費用や時間を減らすことができます。健康寿命をのばし、生き生きと楽しい人生を送るため、この機会に健診を受診してみませんか?

予防接種外来開設について

複十字健診センターでは令和元年11月より予防接種の受け入れを始めました。海外渡航等における予防接種、医療従事者の予防接種など幅広く受け入れ、感染症予防に取り組んで参ります。完全予約制です。ワクチンが取り寄せとなる場合があるため、1週間前までにはご予約していただくようになります。

予防接種外来対応日時

毎週木曜日の午前9時～11時
(木曜日以外を希望する場合はご相談ください)

予防接種内容

従来受け入れの予防接種

インフルエンザ、肺炎球菌

新規受け入れ開始の予防接種

B型肝炎、A型肝炎、破傷風、日本脳炎、狂犬病(暴露前のみ)、ポリオ(不活化ワクチン)、髄膜炎菌(4価結合体)、DPT、MR(麻しん風しん混合)、おたふくかぜ、水痘

※その他の予防接種に関しては、お問い合わせください。
※【健康相談所 興生館】でも、上記すべてのワクチン接種が可能です。

詳しくは当法人ホームページまたは、お電話にてお問い合わせご確認ください。

【複十字健診センター 事務室】 TEL:022-719-5161
【健康相談所 興生館】 TEL:022-221-4461



http://www.jata-miyagi.org



フォトアルバム2019

2月



結核予防全国大会 in 東京



中山吉成地区老人クラブにて講話をしました

7月



県内3カ所での宮城連ブロック別研修会で講話をいたしました



第60回日本人間トック学会演題発表 in 岡山

7月



寄付型自動販売機をリニューアルしました



複十字シール運動開始にあたり宮城連・当法人代表が宮城県佐野副知事を表敬訪問しました

9月



宮城県庁2Fロビーで結核予防・COPDのパネル展を開催しました



結核予防街頭キャンペーンを仙台駅ペDESTリアンデッキで実施しました

7月



がん征圧月間街頭行進に参加しました



消火訓練を行いました

10月

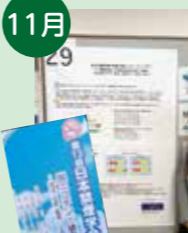


退職自衛官の雇用に尽力した功績により感謝状を頂きました



第28回結核予防及び胸部疾病日中友好交流会議に参加しました
(中国瀋陽市/錦州市)

11月



第13回日本禁煙学会学術総会演題発表 in 山形



イオンモール利府にて「たばこの話」についてのミニ講話と肺年齢測定を行いました



採用内定者懇親会を行いました



仙台市母子健康事業担当者等研修会でたばこについての講話を行いました



千葉大学医学部呼吸器内科 非常勤講師(前 複十字病院副院長) 佐々木結花先生にお越しいたき「結核の早期診断への対応」についてご講話いただきました

医師・保健師等を派遣 パネルの貸出を行っております

当法人は医師や保健師などによる、研修や講話などのご案内をしております。市町村、事業所、団体、学校等が実施する健康づくりのための講習会、健康教室、健康まつり、イベントに当法人スタッフを派遣し、皆様の健康づくりのお手伝いをいたします。また、「結核」「COPD」「たばこの害」について正しく知っていただくために、普及啓発用パネルの貸出も行っております。まずは、お電話またはメールにて「総務部企画課」までお問い合わせください。



研修・講話テーマ

- 結核菌のはなし
- 肺がんとその予防について
- COPD(慢性閉塞性肺疾患)について
- サルコペニア(筋力低下)予防でいつまでも元気!
- 「ロコモ」ってなに?～寝たきりにならない予防法～
- インフルエンザ予防・食中毒の予防について
- 認知症予防のためのちょっと賢い健康生活のコツ
- 健康寿命を延ばすために～生活習慣病について～
- たばこに関する保健指導 など…

複十字シール運動

複十字シール運動とは

結核や肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）を含む胸部に関する疾患をなくして健康で明るい社会を作るため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集める事を目的としています。



治療できる病気「結核」で多くの命が失われています。結核の現状の解決のために、私たちの活動にご協力ください。

宮城県の結核状況（平成30年）概数

【新たに結核になった人】 166人／年
 【結核で亡くなった人】 30人／年

募金は下記の銀行振込または郵便振替で受け付けております。

【口座名義】 公益財団法人 宮城県結核予防会
 【銀行口座】 七十七銀行宮町支店 普通預金 5510830
 【郵便振替】 02270=1=405

無料相談

結核・胸部疾患等に関するお悩み等、どなたでも無料でご相談いただけます。

- ▲セキや痰が続いて心配だ
 - ▲微熱が長引いている
 - ▲たばこを止めたいが自信がない
 - ▲COPDの治療や知識について知りたい
- など、些細なことでもご相談下さい。

【電話による相談】

月曜日～金曜日
 午後3時～4時に下記の連絡先にお電話ください。

【面談による相談】

予約制になりますので、お電話でご予約ください。

【その他】

Eメール、FAX等でも受け付けております。

●連絡先●

*複十字健診センター 看護係
 TEL:022-719-5161(内線205)
 メール:kan@jata-miyagi.org

*健康相談所 興生館 看護係
 TEL:022-221-4461(内線107)
 メール:kokan@jata-miyagi.org

公益性の高い専門機関として、健康診断から治療まで県民の皆様の健康づくりを応援します。

公益財団法人 宮城県結核予防会

〒989-3203 仙台市青葉区中山吉成2-3-1 TEL.022-719-5161 FAX.022-719-5166

複十字健診センター

〒989-3203
 仙台市青葉区中山吉成2-3-1
 TEL.022-719-5161(代表) FAX.022-719-5166

健康相談所 興生館

〒980-0004
 仙台市青葉区宮町1-1-5
 TEL.022-221-4461 FAX.022-221-4465

宮城県結核予防会

http://www.jata-miyagi.org



基本理念

「一人ひとりの健康を創り出すため最善を尽くします」

- 一、私たちは受診者の皆様の人権を尊重し職務を遂行します
- 一、私たちは知識の習得と技術の向上に取り組み健診の質を高めます
- 一、私たちは誠実で正確な健診と医療を目指します